

分野：経営、観光、地域

人口減少期の地域政策・観光地経営・水文化

氏名：中庭光彦 所属 経営情報学部 肩書 教授

多摩大学教員サイト URL

<https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/nakaniwa.html>

キーワード

地域政策、観光まちづくり、共有資源管理、水文化、国土開発文化史

概要

本研究室では人口減少期の観光まちづくり等、地方創生に関する支援を行うため、以下の研究を行っている。

- (1)地域活性化、地域の開発政策史、観光地域経営研究
- (2)都市・地域の文化景観形成・保全・活用に関するガバナンス研究
- (3)水文化の比較研究
- (4)共有資源管理論（コモンズ論）の研究

人口減少期にあっては従来都市のコンパクト化、拠点サービスの変化とネットワーク化、モビリティニーズの増大が同時に進むことにより、公共サービスの再編成が要請される。それを踏まえ、広域地域システムの中で地域資源の価値形成を行ったり、共有資源化し新たなガバナンス下で新たな魅力を生み出さねばならない。

本研究室ではこうした問題意識に立脚し、地域活性化全般の様々な事例調査・政策支援を行っている。

利用・用途

応用分野

- 1.地方創生全般における地方自治体や企業への支援。
- 2.観光地域における文化資源の共有資源管理、文化景観の活用に関する支援。
- 3.水文化づくりに関する支援。

- 1.『東京 都市化と水制度の解釈学—都市と水道における開発・技術・アイデアの政治』（単著）多摩大学出版会、2021年2月
- 2.「水辺を活かした観光まちづくり」（単著）『RIVER FRONT』vol. 89、17-20頁、リバーフロント研究所、2019年9月
- 3.『コミュニティ3. 0—地域バージョンアップの論理』（単著）水曜社、2017年6月
- 4.「多摩地域の戦後水道広域化のあゆみ」（単著）『多摩のあゆみ 第165号』54-65頁、たましん地域文化財団、2017年2月
- 5.『滞日アジア留学生がもつ日本の水魅カイメージ』（単著）ミツカン水の文化センター、2015年2月
- 6.「軽トラ市の観光商圈に関する考察」（単著）『移動流通—買い物難民を支援する新たな流通社会システム』4-24頁、多摩大学経営情報学部移動流通共同研究プロジェクト、2014年2月
- 7.『オーラル・ヒストリー 多摩ニュータウン』（共編著）、中央大学出版部、2010年3月

多摩大学 学長室
206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103
E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp
URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学